

NATIONAL UNIVERSITY ADMISSION CENTERS

国立大学アドミッションセンター

連絡会議ニュース

第 20 号 2023 年 5 月

国立大学アドミッションセンター 連絡会議ニュース

第 20 回総会を開催

令和 4 年 5 月 18 日（水）17 時 30 分から、東北大学 100 周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンラインにおいて、国立大学アドミッションセンター連絡会議 20 回総会が開催されました。

長濱会長（東北大学副理事（入試担当）・入試センター長）より開会の辞があり、議事においては、次第に基づき、現役員の長濱会長及び倉元事務局長の再任並びに幹事の交代に伴う役員の改選（案）の承認、続いて、新規加盟機関（群馬大学アドミッションセンター）の承認、これに伴う会則の改正、会計報告及び 20 周年記念事業の実施及び実行委員会の設置の承認が行われ、いずれも承認されました。

以下は、総会議事要録です。ご覧いただきますようお願いいたします。

【参考】会計報告

令和 3 年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費会計報告

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
	円		円
前年度繰越	3,267,805	連絡会議ニュース第 18 号	127,050
会費（加盟 40 大学）	800,000	上記項目分振込手数料	550
利息	13	シンポジウム司会旅費	72,500
		上記項目分振込手数料	880
		HP 制作	550,000
		サーバ初年度（年間費）	6,286
		ドメイン初年度（年間費）	1,166
		上記項目分振込手数料	550
		ドメイン・サーバ（年間費）	8,362
		上記項目分振込手数料	330
		次年度繰越	3,300,144
計	4,067,818	計	4,067,818

国立大学アドミッションセンター連絡会議 第20回総会議事要録

日 時 令和4年5月18日（水）17時30分～17時48分

場 所 東北大学百周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンライン

開 会

長濱会長による開会挨拶により、東北大学百周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンラインにおいて、第20回総会を開会した。

続いて、倉元事務局長から、令和4年度国立大学アドミッションセンター連絡会議名簿については、各加盟機関からの回答に基づき作成したが、訂正等があれば後日でも構わないので、事務局（東北大学入試課）まで連絡願いたい旨の説明があった。

議 事

1. 役員の改選（案）について

幹事会の原案どおり、現役員の長濱会長及び倉元事務局長の再任が承認された。

続いて、富山大学船橋特命教授の退職に伴う幹事の交代について、広島大学永田准教授にお引き受けいただいた旨の報告があった。

2. 新規加盟機関の承認（案）について

新規加盟の申請があった群馬大学アドミッションセンターの加盟が原案どおり承認された。

3. 会則の改正（案）について

1 機関の新規加盟に加え、3 既加盟機関の名称変更に伴う会則の改正が原案どおり承認された。

4. 会計報告について

令和3年度の会計報告が原案どおり承認された。

5. 20周年記念事業について

次年度の総会に合わせて、20周年記念事業を実施すること、その内容については、実行委員会を設置し、実行委員会において検討を行うこと、委員の構成は、幹事会構成員及び幹事会が指定する者数名とすることが原案どおり承認された。

続いて、20周年記念事業実施にあたり、ご意見等について、資料記載のフォームにてお知らせいただきたい旨の説明があった。

6. その他

加盟機関主催シンポジウム等における当連絡会議との共催や協賛を希望する場合の手続きについて、「加盟機関からのお知らせ」掲載依頼フォームに、「連絡会議との共催や協賛の有無」欄を設けた旨の報告の後、共催や協賛依頼については、幹事会において審議し、可否を決定する旨原案どおり承認された。

国立大学アドミッションセンター連絡会議 企画シンポジウム（報告）

第20回総会に先立ち、『大学入試政策を問う——教育行政と教育現場の「対話」——』と題して公開の企画シンポジウムが開催されました。

高大連携が進み、大学入学者選抜制度に伴う高校と大学の「対話」が行われる機会も増えてきました。その「対話」を教育行政と大学入試の現場で行う試みとして、国立教育政策研究所の浅田和伸氏の基調講演を基軸に議論が展開されました。浅田氏は文部科学省のキャリア官僚から公立中学校長に転身した経歴を持ち、高大接続改革に際しては大学入試センター理事という立場で様々な難題に対応してきました。浅田氏の基調講演を受け、大学、高校の立場から「対話」に関わる3本の講演、報告が続き、討議が行われました。

日時：2022年5月18日（水） 13:00～17:30（受付開始 12:00）

会場：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール（要事前申込）

オンライン配信（居住地限定なし・要事前申込）

司会：東北大学准教授 久保 沙織

次第：

I 開会 開会の辞 東北大学総長 大野 英男
来賓挨拶 文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長 平野 博紀

II 基調講演 1

教育の現場と政策と研究と——やはり「教育は現場が命」だ——

国立教育政策研究所長 浅田 和伸

基調講演 2

大学入試のコンプライアンス——未履修、入試ミス、そして、コロナ対策——

東北大学教授 倉元 直樹

III 現状報告 1

地方公立高校の現場から

山形県立東桜学館中学校・高等学校教諭 延沢恵理子

現状報告 2

入試をめぐる行政と現場との対話——高校入試と大学入試を比較して——

東京都立八王子東高等学校長 宮本 久也

IV 討議

パネリスト 基調講演者及び現状報告者

司会	東北大学教授	宮本 友弘
	東北大学特任教授	阿部 和久

V 閉会	閉会の辞	東北大学理事	滝澤 博胤
------	------	--------	-------

なお、この企画は東北大学高度教養教育・学生支援機構が主催する「第36回東北大学高等教育フォーラム（新時代の大学教育を考える [19]）」との共催として実施されたものであることを付言いたします。

参加者総数は541名、内訳は来場参加者総数が102名、オンライン参加者総数が439名でした。そのうち、国立大学アドミッションセンター連絡会議の関係者は、来場参加者4名（催事スタッフを除く）、オンライン参加者106名でした。多数のご参加ありがとうございました。以上の数値には催事スタッフ45名が含まれます。また、オンライン参加者数は参加申込者数でカウントされています。

報告書は2022（令和4年）11月付で刊行され、参加者に配布されました。報告書のpdf版は東北大学高度教養教育・学生支援機構ウェブサイト「IEHE Report No.86」として掲載されており、以下のURLからダウンロードしてご覧ください。

https://www.ihe.tohoku.ac.jp/?page_id=700&ins=iehe-report#iehe-report

また、本企画の一部が科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）（一般）課題番号21H04409「コロナ禍の下での大学入試政策及び個別大学の入試設計のための総合的入試研究」の助成を受けたことから、報告書は当該科研費のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

<http://www.adrec2.ihe.tohoku.ac.jp/report/>

国立大学アドミッションセンター連絡会議会則

制 定 平成 15 年 6 月 4 日
最終改正 令和 4 年 5 月 18 日

(名 称)

第 1 条 本会は国立大学アドミッションセンター連絡会議と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は、高等学校・大学間の接続関係の改善及び加盟機関における入学者選抜等の業務改善に関する研究協議を行い、あわせて加盟機関相互の交流促進を図ることを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため、必要な事業を行う。

(構成員)

第 4 条 本会は、国立大学のアドミッションセンター、及び国立大学において高等学校・大学間の接続関係の改善に関する研究及び実践に携わる機関によって構成する。

- 2 本会の加盟機関は、別表に掲げる機関とする。
- 3 新たに入会しようとする国立大学の機関は、総会の承認を得るものとする。
- 4 退会しようとする国立大学の機関は、退会の旨を届け、総会の了解を得るものとする。

(役 員)

第 5 条 本会に以下の役員を置く。

- 一 会 長 1 名
 - 二 事務局長 1 名
 - 三 運営委員 各加盟機関からの代表 1 名
 - 四 幹 事 運営委員の中から会長の委嘱 6 名
- 2 会長及び事務局長は総会において選出する。任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の会長及び事務局長の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は加盟機関の代表をもって、これにあてる。

(役員の仕事)

第 6 条 会長は、総会を招集し、その議長となる。

- 2 会長が欠けたときは、事務局長がその職務を代行する。
- 3 事務局長は、本会の運営に必要な事務全般を行う。
- 4 運営委員は、本会の運営に携わる。

(総 会)

第 7 条 総会は、加盟機関の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 総会の議事は、出席した加盟機関の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(加盟機関以外の出席)

第8条 会長が必要と認めたときは、加盟機関以外の者を総会に出席させ、意見を聴くことができる。

(事務局)

第9条 本会に、本会の事務を処理するための事務局を置く。

2 事務局は、事務局長の所属する機関に置く。

(雑則)

第10条 この会則に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は本会が別に定める。

附則

この会則は、平成15年6月4日から施行する。

附則

この会則は、平成17年6月1日から施行する。

附則

この会則は、平成18年5月31日から施行する。

附則

この会則は、平成19年5月29日から施行する。

附則

この会則は、平成20年5月25日から施行する。

附則

この会則は、平成21年5月19日から施行する。

附則

この会則は、平成22年6月7日から施行する。

附則

この会則は、平成23年5月24日から施行する。

附則

この会則は、平成25年6月5日から施行する。

附則

この会則は、平成28年6月1日から施行する。

附則

この会則は、平成29年5月24日から施行する。

附則

この会則は、平成30年5月24日から施行する。

附則

この会則は、令和2年6月2日から施行する。

附則

この会則は、令和3年5月17日から施行する。

附則

この会則は、令和4年5月18日から施行する。

別表（第4条第2項関係）

北海道大学アドミッションセンター
小樽商科大学アドミッションセンター
旭川医科大学入学センター
北見工業大学アドミッションセンター
東北大学入試センター
山形大学エンロールメント・マネジメント部
福島大学アドミッションセンター
茨城大学アドミッションセンター
筑波大学アドミッションセンター
群馬大学アドミッションセンター
東京大学高大接続研究開発センター
東京学芸大学アドミッションオフィス
東京農工大学グローバル教育院
電気通信大学アドミッションセンター
横浜国立大学高大接続・全学教育推進センター
新潟大学経営戦略本部教育戦略統括室高大接続推進部門
富山大学教育・学生支援機構アドミッションセンター
金沢大学高大接続コア・センター
福井大学アドミッションセンター
山梨大学アドミッションセンター
信州大学アドミッションセンター
静岡大学全学入試センター
名古屋大学教育基盤連携本部アドミッション部門
滋賀大学高大接続・入試センター
京都工芸繊維大学アドミッションセンター
大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター
鳥取大学教育支援・国際交流推進機構入学センター
岡山大学教育推進機構入試・高大接続部門
広島大学高大接続・入学センター
山口大学教育・学生支援機構アドミッションセンター
徳島大学高等教育研究センターアドミッション部門
香川大学アドミッションセンター
愛媛大学アドミッションセンター
高知大学アドミッションセンター
九州大学アドミッションセンター
九州工業大学教育接続・連携 PF 推進本部高大接続センター
佐賀大学アドミッションセンター
長崎大学教育開発推進機構アドミッションセンター
鹿児島大学アドミッションセンター
鹿屋体育大学アドミッションセンター
琉球大学グローバル教育支援機構アドミッションセンター

国立大学アドミッションセンター連絡会議役員 (令和4年度)

会 長：長濱 裕幸 (東北大学副理事 (入試担当)・入試センター長)

事務局長：倉元 直樹 (東北大学入試センター副センター長)

運営委員：下表

幹 事：大学名の前に○を付した

幹事	大 学 名	氏 名	役 職 名
○	北海道大学	池 田 文 人	高等教育推進機構高等教育研究部教授
	小樽商科大学	佐 山 公 一	アドミッションセンター副センター長
	旭川医科大学	野 津 司	入学センター長
	北見工業大学	村 田 美 樹	アドミッションセンター長
○	東北大学	倉 元 直 樹	高度教養教育・学生支援機構高等教育開発部門入試開発室教授
	山形大学	片 桐 茂 則	エンロールメント・マネジメント部入試課長
	福島大学	新 藤 洋 一	アドミッションセンター副センター長
	茨城大学	柴 原 宏 一	アドミッションセンター長
○	筑波大学	大 谷 奨	アドミッションセンター長
	群馬大学	杉 山 学	アドミッションセンター副センター長
	東京大学	佐 藤 健 二	高大接続研究開発センター長
	東京学芸大学	濱 田 豊 彦	アドミッションオフィス室長
	東京農工大学	藤 井 恒 人	グローバル教育院教授
	電気通信大学	山 路 浩 夫	アドミッションセンター特任教授
	横浜国立大学	青 山 浩 之	高大接続・全学教育推進センター高大接続部門長
	新潟大学	坂 本 信	経営戦略本部 教育戦略統括室 高大接続推進部門長
	富山大学	山 田 貴 光	アドミッションセンター特命准教授
	金沢大学	中 野 正 俊	高大接続コア・センター特任助教

	福井大学	大久保 貢	地域創生推進本部アドミッション部教授
	山梨大学	日 永 龍 彦	アドミッションセンター長
	信州大学	小 暮 克 哉	アドミッションセンター講師
	静岡大学	雨 森 聡	全学入試センター准教授
	名古屋大学	永 野 拓 矢	教育基盤連携本部アドミッション部門准教授
	滋賀大学	太 田 善 之	高大接続・入試センター長
	京都工芸繊維大学	山 本 以和子	アドミッションセンター教授
	大阪大学	山 下 仁 司	大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター入試広報・入試開発部長
	鳥取大学	森 川 修	教育支援・国際交流推進機構入学センター准教授
○	岡山大学	田 中 克 己	教育推進機構入試・高大接続部門教授
○	広島大学	永 田 純 一	高大接続・入学センター長
	山口大学	和 泉 研 二	アドミッションセンター長
	徳島大学	植 野 美 彦	高等教育研究センターアドミッション部門長
	香川大学	竹 内 正 興	アドミッションセンター長
	愛媛大学	井 上 敏 憲	アドミッションセンター長
	高知大学	永 田 信 治	アドミッションセンター長
○	九州大学	佐 藤 喜 一	アドミッションセンター教授
	九州工業大学	安 永 卓 生	教育接続・連携PF推進本部高大接続センター長
	佐賀大学	西 郡 大	アドミッションセンター長
	長崎大学	中 村 典 生	教育開発推進機構アドミッションセンター長
	鹿児島大学	太 田 一 郎	アドミッションセンター長
	鹿屋体育大学	中 本 浩 揮	アドミッションセンター長
	琉球大学	田 中 寛 二	グローバル教育支援機構アドミッションセンター長

編集後記

一昨年、昨年の編集後記の冒頭でも新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について書いたことを思い出しました。感染拡大が始まって3年余が過ぎましたが、新しい年度を迎え、本務先の東北大学のBCPレベルも「0（通常）」となりました。ようやく出口が見えてきて少しホッとしているところです。とは言え、大学入学者選抜に関してどの程度コロナ以前の状況が戻ってくるかは、今後も推移を見守る必要がありそうです。

事務局をお引き受けしてから、年に1度のシンポジウムを東北大学入試センター主催の「東北大学高等教育フォーラム」との共催という形で開催させていただいており、今回で3度目となりました。COVID-19環境下での開催ということで、今回も引き続き、来場参加、オンライン参加が選択可能なハイフレックス方式の実施とさせていただきました。一昨年は登壇者も来場とオンラインに分かれたことから、技術的にも高い難易度が要求される開催方法でしたが、昨年度はやや状況が好転し、登壇者全員が会場で顔を合わせることができました。今回のシンポジウムと総会も基本的に昨年度の方法を踏襲した形式となります。COVID-19が完全に収束した後も、大規模イベントの開催が完全に元に戻ることはなさそうです。対面、オンラインともに利点と欠点がありますが、ポストコロナ時代における平常時のイベント開催の新しいスタイルがそろそろ見えてくるのではないのでしょうか。

さて、令和4年度の総会は本連絡会議創立20年の節目に当たるということで、記念事業としてのシンポジウムを開催させていただくことになりました。また、会員校であっても他大学の状況がよく見えないのが実情だったことから、20周年記念事業実行委員会が主体となって、会員校を含む国立大学全体を対象とした調査を実施させていただきました。多くの大学のご協力に感謝すると同時に、それぞれのお立場から調査結果をお役立ていただければ幸いです。さらに、国立大学におけるアドミッション関連組織の将来像について一緒に考えていくきっかけにしたいと思います。本連絡会議の組織体としての在り方について本格的に議論を始め、より良い近未来を目指して構想を進めるために、総会において具体的な提案を行う予定です。今後とも引き続き、ご支援のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

令和5年5月 事務局 倉元 直樹（東北大学）

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース 第20号

発行：国立大学アドミッションセンター連絡会議
編集：東北大学入試センター（連絡会議事務局）
〒980-8576 仙台市青葉区川内28
電話：022-795-4815 / F A X：022-795-4815

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース 第 20 号

発行：国立大学アドミッションセンター連絡会議

編集：東北大学入試センター（連絡会議事務局）

〒980-8576 仙台市青葉区川内 28

電話：022-795-4815 / F A X：022-795-4815